

# 環境省 環境報告ガイドライン2012対照表

環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」と本学環境報告書記載項目の対照表を下記に示します。

ガイドライン項目	本環境報告書 ページ	ガイドライン項目	本環境報告書 ページ
【第4章】環境報告の基本的事項		【第6章】「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標	
1. 報告にあたっての基本的要件		1. 資源・エネルギーの投入状況	
(1) 対象組織の範囲・対象期間	目次	(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	12
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	目次	(2) 総物質投入量及びその低減対策	12-13
(3) 報告方針	目次	(3) 水資源投入量及びその低減対策	13
(4) 公表媒体の方針等	目次	2. 資源等の循環的利用状況（事業エリア内）	-
2. 経営責任者の緒言	1	3. 生産物・環境負荷の算出・排出等の状況	
3. 環境報告の概要		(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	-
(1) 環境配慮経営等の概要	2-5	(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	15
(2) KPI（KeyPerformanceIndicator:主要業績評価指数）の時系列一覧	11-12	(3) 総排水量及びその低減対策	16-17
(3) 個別の環境課題に関する対応総括	7-9	(4) 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	15
4. マテリアルバランス	11	(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	16
【第5章】「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標		(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	16
1. 環境配慮の取組方針、ビジョン及び事業戦略等		(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	16-17
(1) 環境配慮の方針	1	4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	-
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	1	【第7章】「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標	
2. 組織体制及びガバナンスの状況		1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	
(1) 環境配慮経営の組織体制等	6	(1) 事業者における経済的側面の状況	-
(2) 環境リスクマネジメント体制	6	(2) 社会における経済的側面の状況	-
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	10	2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	42
3. ステークホルダー（利害関係者）への対応状況		【第8章】その他の記載事項等	
(1) ステークホルダーへの対応	33-37・38-41	1. 後発事象等	
(2) 環境に関する社会貢献活動	33-37	(1) 後発事象	-
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況		(2) 臨時的事象	-
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	38-41	2. 環境情報の第三者審査等	-
(2) グリーン購入・調達	14		
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	19-26・27-32		
(4) 環境関連の新技術・研究開発	27-32		
(5) 環境に配慮した輸送	-		
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発/投資	-		
(7) 環境に配慮した廃棄物処理/リサイクル	16		